

事例 4

「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」を活用した事例

校 種	小学校	学 年	5 年
テーマ	女性の就業率はなぜ増加しているのか		
領 域	教科（ 社会科 ）		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の就業率が増加している理由を考えることにより、職業への偏見や家事労働について見直すことができる。 ○ 男女は平等にその能力が評価されなければならないことを知る。 		
<p>【学習展開（概要）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家事について家庭での仕事分担について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝や晩にしていること ・家事はほとんどお母さんやおばあちゃんがしている。 2 女性の就業率が増加しているグラフを見て、その理由を考える。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 高校や大学への進学率の伸び 子どもの教育費の増加でお金が必要になったから (2) 消費社会 生活が便利になった分、お金が必要になったから (3) 洗濯機、掃除機、ガス、保育所など 家事が楽になり、時間に余裕ができたから (4) 結婚しない女性の増加 生きがいを求めるため 3 様々な職業に進出している女性の資料を読み、女性が働くことの大変さや男女が平等に働ける環境づくりへの理解が必要なことに気づく。 <ul style="list-style-type: none"> ・パイロットやトラック運転手など男性がしていた仕事に就く女性の増加 ・働く女性の増加による家事の分担 ・給料は？ ・働く女性を守るためにできること 			
<p>【工夫・配慮点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に一番身近である家庭を思い出させることにより、女性の就業率について考えられるようにした。 ○ 家庭により様々な事情があるため、個人情報に関する内容は避けた。 ○ 働くことが良い・悪いという視点にならないようにした。 			
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童にとって、普段はあまり気にしない問題であるが、女性が働くことについて様々に考えなければならないことがあることに気づくことができた。 ○ 家事について、当然と思っていたことを再考する機会になった。 		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童は、「男だから…」「女だから…」というようなことを、家庭や地域社会の中で身につけてしまう。それだけに、男性と女性の在り方を考える機会をいろいろな場面で設定していくことは大切である。 		